

## 御前山地域での民俗調査をはじめます

やっと新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきました。感染状況を確認しつつではありますが、6月下旬から市史編さんのための民俗調査活動を再開できることになりました。

常陸大宮市史編さん委員会の民俗部会は、昔から続いてきた普段の生活の姿を記録したいと考えており、現地で直接皆さまからお話をお聞きすることを重視してまいりました。ところが、このところの新型コロナウイルス感染予防の観点から、現地での聞き取りができにくい時期が続いてしまいました。平成30年(2018)度に山方地域、令和元年(2019)度に美和地域での実施以来、約2年半ぶりの再開となります。

活動再開のスタート地点となります御前山地域は、常陸大宮市の中でもその地域のほぼ真ん中を那珂川が貫流しており、かつてから川漁や舟運での商業活動などの他の地域とは異なった特色を持った地域であると考えておりますし、栃木県とも接していて物流のみならず文化面での交流・共通点も多く見られる地域であろうと思っています。

さらに、長倉の七夕や野田の鹿島神社祭礼・山車などの祭礼行事関係の調査ができることも期待しています。また、路傍に立つ「子安観音」「地藏菩薩」「二十三夜講」「馬力神」「馬頭観音」など多くの石仏・石塔から普段の生活様式や信仰の姿を想像していますが、実際の様子をお聞かせいただければありがたいと考えています。

このコロナ禍の期間中、常陸大宮市域での生活も大きく変化した部分があるかと思えます。祭



▲那珂川の川船(野口地区) 平成16年(2004)撮影



元茨城県立歴史館  
史料学芸部長  
大津 忠男  
民俗部会 部会長

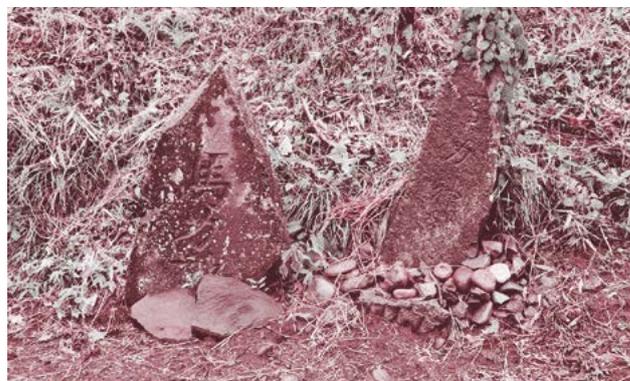
礼や行事等もやむを得ず中断されたケースも多かったと聞いておりますので、行事等実施についての情報を収集しております。

新型コロナウイルス感染予防には油断することなく十分留意して活動させていただきますので、ご協力のほどよろしくお願いたします。

### ■問い合わせ■

文化スポーツ課

文化振興グループ ☎52-1111(内線343)



▲「馬力神」石碑(下伊勢畑地区)



▲山車(野田地区鹿島神社所蔵)